



学校がしっかりと そしてしっかりと動き始めています

2・3年生の今年度のスタートは4月9日(金)の始業式となりました。1日遅れのスタートとなりましたが、下に示すとおり、2年生、3年生代表による力強い「今年度の決意」が語られました。

2年生になつての決意

二年一組 池田 莉子

2年生となった私には今年の目標が二つあります。

一つ目は「自覚を持って行動すること」です。

一年生のときはわからないことなどを先輩に聞くことが多かったですが、今年は新しく入ってくる一年生に先輩として姿を見せたり、三年生を支えたりする大事な学年になると思います。私は2年生として人に言われてから動くのではなく自分で考えて行動することを大切にしたいです。また、基本的な挨拶や感謝の気持をしっかり持ちたいです。

二つ目は「勉強」です。私は定期テストや到達度テストで自分の目標点数や順位をとれないことが多くありました。勉強のやる気が出なかった原因は主にテレビや You Tube などのネット類に夢中になってしまい勉強を後まわしにしてしまったことだと思います。なので、一日にインターネットを使う時間を決め勉強時間を増やし、毎日すこしは勉強するということを心がけていきたいです。特に英語が苦手なので今よりもっと力を入れていきたいです。2年生では一年生のときとは違い「受験」という言葉がずっと身近にあるものになると思います。自分の将来を考え今よりもっと熱心に授業や家庭学習に取り組んでいきたいです。

コロナ禍で今までの当たり前の日常が当たり前ではなくなりましたが、自分が今できることを精一杯して中学校生活の残り二年を後悔なく過ごしていきたいと思います。



2年教職員による歓迎の掲示物。小鳥に各先生から「もう先輩ですね。昨年度と違う姿が楽しみです」「皆さんと出会えたことを嬉しく思います」などのメッセージが書かれています。

3年生になつての決意

三年二組 佐野 陽琉

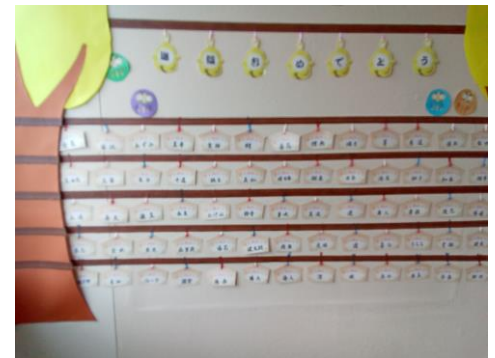
コロナ前を知っている三年生が卒業して、いよいよ僕たちが三年生になりました。2年生の最後の学年集会で英語の小池先生が3年生には「最高学年、受験生、卒業生」の三つの呼ばれ方があるとおっしゃっていました。あと一ヶ月後には最高学年としての最初の行事修学旅行があります。夏休みが終われば今度は受験生としてサマーテスト、校長会テストに臨む、最高学年としていちょう祭を行うなどとても忙しい一年間になります。

生活面では、3年生は一つ一つの行事に「中学校生活最後の」という言葉が付きまします。この一年間で一・二年生に南西中の三大文化、応援・ソーラン・合唱を継承して、いちょう祭などの行事を成功できるように「一つ一つの活動に精一杯取り組む」ことを目標にして取り組んでいきます。

また、昨年度行った2分前着席では、目標の「違反者0」を達成することができませんでした。僕たち三年生が一・二年生の手本となれるように普段の生活から自覚を高く持ち過ごしていきたいです。

学習面では、計画を立てて、勉強し、効率よく勉強ができるようになるために「勉強の習慣化」を目標にして取り組んでいきます。今年は受験生となりますが、意識を高め、毎日勉強していきたいです。3月に全員が希望する進路実現ができるよう、お互いに高めあひながら、日々の授業や家庭学習に意欲的に取り組んでいきたいです。

最高学年として下級生のお手本となるような行動を心がけて生活し、来年の三月に悔いなく卒業できるように、この二つの目標を意識して一年間頑張ります。



3年教職員による歓迎の掲示物。3年生のチャレンジ目標である進路決定を意識して、1つ1つの絵馬に、一人一人の生徒の名前が書かれています。3年職員の思いが伝わってきます。

それぞれの生徒の決意は学年を代表するにふさわしいものであり、2年生は、中堅学年として一年生を導き学校を支えるとともに昨年度の反省を生かし勉強に頑張る、3年生は、最上級生として学校を引っ張るとともに義務教育九年間の最大の課題である進路決定に一人一人が覚悟して臨む、という決意が伝わってきました。

私から、3年生には、①この一年間は「あの時こうしておけばよかった」という苦い後悔をしないよう、一つ一つのことに全力で取り組み、南西中を引っ張ってほしい。②高校受験が頭をよぎると思うが、大事なことは、地道に学習を積み重ねるとともに、自分の好きなことや、自分の将来について、「よく考える」こと。2年生には、①中堅学年として、学習や部活動などで内容の広がりや深まりが求められるが、強みは、中学校生活を一年間経験しているのでイメージを持って学校生活を送ることができること ②大きな目標を立て、果敢にチャレンジしてほしい。「何もしないから失敗がない一年間」より「失敗してもよいから挑戦する一年間」の方が、意味があるとの話をしました。

校舎内を巡回し、二・三年生の授業を参観していますが、しっかりとした雰囲気の中で、先生の問いかけに答えたり、自分の考えを書いたり、発表したりする姿があちこちで見られます。南西中の令和四年度が動き始めています。